製品の仕様

商品名・型式	MS SHREDDER　ID-440SEF
投入幅	400 ㎜
細断寸法	約 6 ㎜× 16 ㎜
細断方式	ストレートカット＋スパイラルカット
屑均し方式	エレベータユニット付ファンプレス
最大細断枚数 A4 PPC 紙 (50Hz/60Hz)	約 45/45 枚
定格細断枚数 A4 PPC 紙 (50Hz/60Hz)	約 22/22 枚
細断速度	約 2 ～ 9 m/分 (自動変速)
定格時間	連続
電源	AC100V　50Hz/60Hz
定格消費電力	720W
待機消費電力	0W （使用 5 分後）
大きさ W×D×H	500 ㎜× 600 ㎜× 850 ㎜
質量	約 109 kg
細断可能物	PPC 紙等の紙

＊最大細断枚数は、電圧、紙質、湿度等にて変動します。

保証・サービスについて

1. 保証書は、内容をご確認の上、保存してください。
2. 保証期間中に、正常な使用状態で、万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき「無償修理」いたしますので、お求めの販売店にご照会ください。
3. 修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みの上、なお異常のあるときは(保証期間中の場合は保証書をお示しの上)、販売店にお申し出ください。

◎修理を依頼される場合は、保証書に記入されている販売店へ下記の項目をできるだけくわしくご連絡ください。
尚、(2)～(4)については保証書をご覧ください。
(1)故障状況　(2)機種名　(3)製造番号　(4)ご購入年月日

お問い合わせ及びくず袋のご注文は下記へご連絡ください。

支店・営業所名 または販売店様名	
住　　所	
電 話 番 号	

MS SHREDDER
取扱説明書
ID-440 SEF

このたびは MS SHREDDER をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、いつまでもご愛用くださいますようお願い申し上げます。
この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ

1. ご使用の前に

1-1. 安全に正しくお使い頂くために

この取扱説明書及び製品では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示を用いています。その表示と意味は次のようになっています。

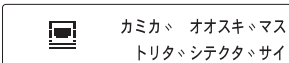
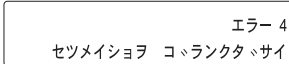
⚠ 警 告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注 意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠ 注意事項を示します。
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は規制、要請事項を示します。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警 告

1. 乳幼児・お子様は、シュレッダーに近付けないで下さい。 けがや感電など、思わぬ事故の恐れがあります。	6. ボタン電池等の電池類は投入・細断しないでください。 火災の恐れがあります。
2. 投入口や排出口には指や手を入れないで下さい。 機械の内部にはカッターがあり、けがの原因となる事があります。	7. 電源コードを傷つけたり、加工等はしないでください。 また重いものをのせたり、無理に引っぱったり、曲げたりすると電源コードを傷め、火災や感電の恐れがあります。
3. 髪の毛、ネクタイ、ネックレス、着衣のそで、ブレスレット、カードホルダーなどを投入口にたらさないでください。 引き込まれてけがの原因になることがあります。 	8. 以下の場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売会社もしくは保守サービス会社に連絡ください。 ・発熱・発煙・異臭・など、異常な状態になった場合。 ・異物（金属片、水、液体など）が機械の内部に入った場合。 けがや感電・火災の恐れがあります。
4. ご自分での分解・改造・修理はしないでください。 けがや感電などの原因となる恐れがあります。	9. 濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の恐れがあります。
5. 機械内部へオイル・スプレーを使用しないでください。 可燃性のガスにより、引火・爆発を起こす恐れがあります。	10. アース線を取付けてください。 アース線は機械の後部下から電源コードと共に出ています。

4. こんなときには

4-1. 故障かな？と思ったら

症　状	ここをチェックしてください	参照ページ
1. 投入口に紙を入れても機械が動かない 「スタート」キーを押してもカッターが回らない	■元電源が切れていませんか。	—
	■電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	—
	■ブレーカが「off」になっていませんか。	—
	■オートカットが作動していませんか。	7
	■オーバーフローストップが働いていませんか。	7
	■投入口スイッチが働いていませんか。	8
	■省電力モードになっていませんか。	4
	■とびらが開いていませんか。	7
	■エラーメッセージが出ていませんか。	9
2. カッターが止まらない	■投入口に紙が引っかかっていませんか →「ストップ」キーを押しカッターを停止させた後、電源プラグを抜いてから紙を取り除いてください。	—
3. 書類を投入するとカッターが逆回転してしまう	■投入している紙の量が多すぎませんか	7

4-2. お手入れ

1. お手入れの前には必ず電源プラグを抜いてください。
2. お手入れは外観の汚れを取るだけにとどめてください。
   機械内部にはカッター、歯車などがあり危険です。
3. 外部の清掃はやわらかい布でからぶきしてください。
   汚れがひどいときは中性洗剤をひたした布をよくしぼってふき、その後やわらかい布でからぶきしてください。

3-3.エラーメッセージについて

1. エラー 1

原因と表示

細断停止中に投入口に紙、または異物が入れられたまま放置（約３分ほど）されますと、安全のため右の a. の表示から b. のエラー１の表示になり、機械の始動が一時的にできなくなります。

処置

ブレーカを「off」にし、電源プラグを抜いてから、投入口にあるものを取り除き、再度ブレーカを「on」にしてください。

2. エラー 2

原因と表示

オートリバースがかかった後、紙をそのまま放置（約２分ほど）されますと、安全のため右の a. の表示から b. のエラー２の表示になり、機械の始動が一時的にできなくなります。

処置

ブレーカを「off」にし、電源プラグを抜いてから、投入口にある紙を取り除き、再度ブレーカを「on」にしてください。

3. エラー 3

原因と表示

約30分間連続運転をすると、安全のため右の表示になりカッターが停止し、機械の始動が一時的にできなくなります。
（オートパワーカットオフ）

ｴﾗｰ 3
ｾﾂﾒｲｼｮｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ

処置

一旦ブレーカを「off」にし、再度ブレーカを「on」にしてください。

4. エラー 4

原因と表示

くずならし装置のモーターロックが起こりますと、モーターの焼損を防止するため右の表示になりカッターが停止し、機械の始動が一時的にできなくなります。

ｴﾗｰ 4
ｾﾂﾒｲｼｮｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ

処置

一旦ブレーカを「off」にし、くずがいっぱいになっていないか確認してください。いっぱいであればくずを捨て、再度ブレーカを「on」にしてください。

・上記の処置を行なっても頻繁に同じメッセージが出る場合は、故障の可能性があります。エラー番号を確認の上、販売店へご連絡ください。**決して上記にある処置法以外のことを無理に行なわないでください。**

⚠ 注 意

1. 本体をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
倒れるとけがの恐れがあります。

2. 本体の上に物をのせたり、腰かけたり、乗ったりしないでください。
けがの恐れがあります。

3. 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。また、ストーブ等の発熱器に近い場所には設置しないでください。
感電や火災の原因となる事があります。

4. 本体に直接水をかけないでください。（掃除の時など）
感電の原因となる事があります。

5. 機械をベンジン、シンナー、みがき粉、タワシ等を使って清掃しないでください。
変型、変色、傷の原因になります。

6. 機械を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
コードが傷付き、感電、火災の恐れがあります。

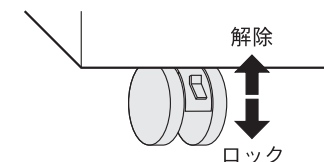
7. 作業が終了したときは、電源を切ってください。また、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

8. 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず電源プラグを持っておこなってください。
コードの断線による火災の原因となることがあります。

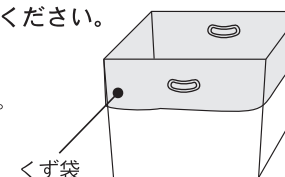
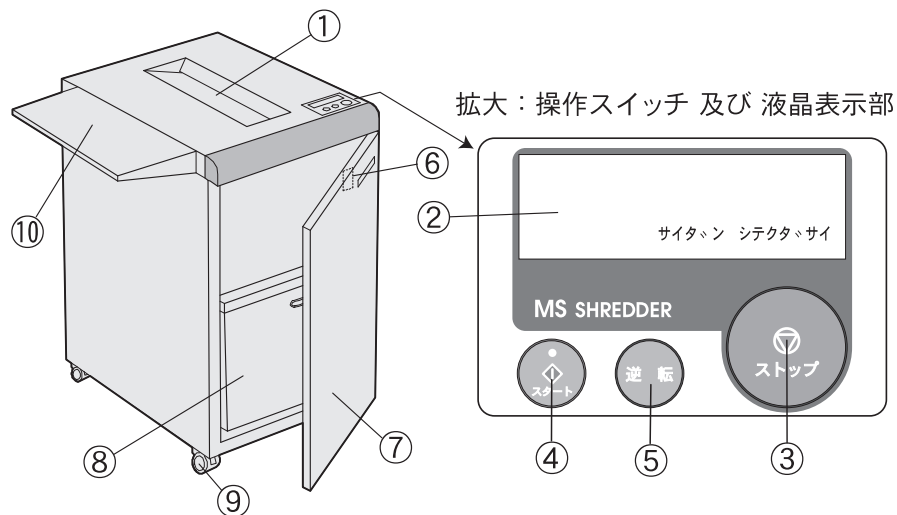
1-2. 設置に関して

1）〈1-1、安全に正しくお使い頂くために〉に従い、水平で安全な床の上に機械を設置してください。

2）設置場所が決まりましたら、キャスタの前２輪をロックしてください。

※機械を移動する場合には、キャスタのロックが上側（解除）になっているか確認してください。

3）電源プラグを（建物備付の）専用コンセントに接続してください。
…ＡＣ１００Ｖ・１５Ａ
電源プラグは、「安全上の注意」に書かれている内容に従い、お取り扱いください。

4）くず箱の内側に、くず袋を密着させてセットしてください。
くずを飛散させることなく簡単に捨てられます。

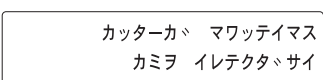
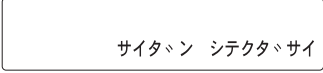
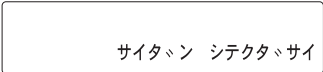
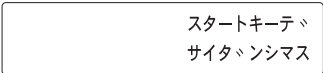
※くず箱とくず袋の間の空気は充分に除いてください。
くずの量を検知するセンサーの誤作動の原因となることがあります。

1-3. 各部の名称とその働き

名　称	各 部 の 働 き
① 投入口	用済書類をここから入れます。
② 液晶ディスプレイ	現在の状況を表示します。
③ ストップキー	このキーを押すと細断が停止します。
④ スタートキー	ブレーカを「on」に入れた後、このキーの上部 ここ を押すと細断できる状態になります。このキーの上部 ここ を押すと省電力モードから復帰します。
⑤ 逆転キー	このキーを押し続けている間だけカッターが逆転します。
⑥ ブレーカ（メインスイッチ兼用）	電気回路の事故、またはモーターがロックした場合に働き、モーターの焼損を防止します。メインスイッチとしてご使用ください。
⑦ とびら	くず箱を出し入れする場合に開けます。
⑧ くず箱	細断くずを収納する箱です。
⑨ キャスタ	前２輪はストッパ付きです。設置場所が決まりましたらロックします。
⑩ ペーパートレイ（付属品）	用済書類を置きます。

5. ブレーカ
機体内で、万一電気回路に事故が起こったり、モーターが長い間通電したままロックされた場合に働き、モーター配線等の焼損を防止します。
6. 投入口スイッチ
オートリバース時に紙を引出し易くするため投入口が開いた際、安全のため投入口スイッチにより細断できなくします。

3-2. お知らせ音機能について

1. **受付音** − キー入力の受付及び機械の状態が変わる際“ピッ”という音でお知らせします。

2. **警告音** − 細断停止中に紙、異物があり、『スタートキーデサイダンシマス』の状態のとき“ピピッ”という音を5秒毎に断続的にならします。
細断物、その他を速やかに取り除いてください。
3分以上この状態で放置されますと、表示「エラー１」となり一時的に機械は始動できなくなります。

3. **報告音** − 自動的に機械の状態が変わるとき、“ピーッ”という音を連続で鳴らして状態をお知らせします。
・くず満杯検知後、くずをならしているとき。
・オートカットが働くときと、解除されるとき。
・機械が「エラー」になっているとき。

3-1. 安全装置について

MS SHREDDER には、安全のために、「安全装置」「お知らせ音機能」「エラーメッセージ」といった電気的に制御された安全機能を採用しております。

1. オートカット

長時間の過負荷運転やモーターのロックなどにより、モーターの過熱防止装置が働き、モーターの焼損を防止します。自動的に解除されますのでしばらくお待ちください。また作動時と解除時にお知らせ音でお知らせします。（8ページ参照）

モーターヲ ヒヤシテイマス
オマチクタ゛サイ

アイコンは交互に点灯

2. とびらスイッチ

とびらを開けますと、機械は始動できません。

トヒ゛ラカ゛ アイテイマス
シメテクタ゛サイ

アイコンは交互に点灯

3. オーバーフローストップ

くず箱が細断くずで満杯になりますと機械は自動的に停止します。
（処理方法は 6ページ参照）

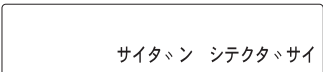
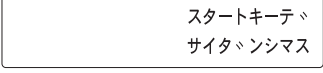
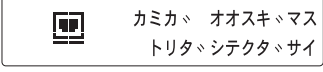
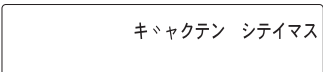
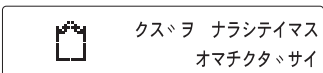
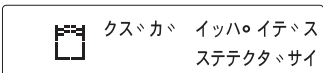
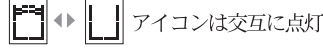
クス゛カ゛ イッハ゜イテ゛ス
ステテクタ゛サイ

アイコンは交互に点灯

4. オートリバース

最大細断枚数を超えて紙を投入しますと、紙をカッターにかみ込んだままいったん停止し、自動的に逆回転し紙をはき出し停止します。投入口から紙を取りだし、枚数を適量にして、再投入してください。
「逆転」キーを押してカッターを逆回転させることもできます。

カミカ゛ オオスキ゛マス
トリタ゛シテクタ゛サイ

アイコンは交互に点灯

2-1. 細断方法

	手　順	表　示
1.	ブレーカを「on」にし、スタートキーの上部 ここ を押してください。 右の表示が現れます。 何も操作しないで５分間たつと省電力モードになり、全ての電源がOFFします。 再度、スタートキーの上部 ここ を押すと復帰します。	サイタ゛ン シテクタ゛サイ
2.	「スタート」キーを押してください。 カッターが回りだし右の表示になります。	カッターカ゛ マワッテイマス カミヲ イレテクタ゛サイ
	1．の状態から、先に紙を投入されますと、オートスタートします。	サイタ゛ン シテクタ゛サイ
3.	細断する紙を投入口の中央の マークに合わせてまっすぐに投入してください。 紙が引き込まれ始めたら、すぐに手を放してください。 紙の投入状況により右の４つの細断レベルで表示されます。 ・a.～c.のレベルで投入されることをお奨めします。 ・d.のレベルを超えた紙を投入されますと、オートリバースがかかることがあります。 (7ページ参照)	a. 細断レベル：少なめ サイタ゛ン シテイマス LEVEL b. 細断レベル：ふつう サイタ゛ン シテイマス LEVEL c. 細断レベル：ふつう サイタ゛ン シテイマス LEVEL d. 細断レベル：多め サイタ゛ン シテイマス LEVEL ※細断レベルは、紙の質や電圧のばらつきなどにより前後します。あくまでも目安としてお考えください。

4.	投入した紙が見えなくなってから約10秒後に、カッターが自動的に停止し、1.の表示に戻ります。 連続細断する場合、投入の間隔を10秒以下にしてください。	サイタ゛ン　シテクタ゛サイ
5.	途中で止めるときは、「ストップ」キーを押してください。カッターは停止します。このとき、投入した紙が見えなくなっていれば a.、残っていれば b. の表示に戻ります。 b. の表示のときは、安全のため警告音が断続的に鳴り続けます。 （8ページ参照）	a. サイタ゛ン　シテクタ゛サイ b. スタートキーテ゛ サイタ゛ンシマス
6.	ご使用後はブレーカを「off」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。	

2-2. カッターを逆転させる

1.	カッターの逆転は、右の３つの表示の状態のときに可能です。 液晶の表示をご確認ください。	サイタ゛ン　シテクタ゛サイ スタートキーテ゛ サイタ゛ンシマス カミカ゛　オオスキ゛マス トリタ゛シテクタ゛サイ アイコンは交互に点灯
2.	逆転は「逆転」キーを押し続けている間だけ右の表示になり、カッターが逆転します。	キ゛ャクテン　シテイマス

2-3. 細断くずを捨てる

1.	くずが満杯になりますと一定時間、右の表示になり、自動でくずをならします。約10秒ほどで終わりますのでお待ちください。 報告音でもお知らせします。 （8ページ参照） 危険ですのでとびらは開けないでください。	クス゛ヲ　ナラシテイマス オマチクタ゛サイ アイコンは交互に点灯
2.	くずがならし終わり、右の表示になりましたら、とびらを開いて細断くずがくず箱の外に落ちないように、くず箱を手で軽く前後に振ってくずを平らにならしてください。	クス゛カ゛　イッハ゜イテ゛ス ステテクタ゛サイ アイコンは交互に点灯
3.	細断くずがくず箱の取手の穴までたまったら、くず箱を取り出し、細断くずを捨ててください。	

2-4. 細断物について

金属類の細断は、細断紙と混在してしまうホチキスの針及びゼムクリップの28㎜以下までにしてください。なお、以下のものは細断能力を低下させる要因となるため細断しないでください。

・カーボン紙
・化学紙
・ダンボール
・湿った紙
・粘着物のついた紙（粘着メール、粘着テープ付封筒、宅配便の送り状 等）
・OHP等の各種フィルム類
・ビニール袋、ポリ袋
・ゴム、皮革、布類